

# 地理

## 資源エネルギー問題 —— 21世紀に取り組むべき課題

土橋克彦 茨城県ひたちなか市立田彦小学校教諭（前美和村立美和中学校教諭）

### 1 教材のねらい

21世紀に取り組むべき問題として、環境、人口、資源・エネルギー、食糧問題などが見いだされる。このうち一つを選択させ、プレゼンテーションを通して総合的に問題をとらえさせたい。とくに資源・エネルギー問題は、自分の生活との関連でエネルギー事情をとらえさせたい。

### 2 新聞活用のねらい

新聞記事を活用して現状を調べたり、新聞記事を参考にして問題点を考えたりすることで、それぞれの問題について自分なりの考えが持てるようにする。資源・エネルギー問題では、新エネルギーの必要性を新聞記事を通して考えさせたい。

### 3 指導計画（7時間）

- ① 21世紀に取り組むべき問題を見だし、学習計画を立てる。 (1時間)
- ② 学習計画にしたがって、自分の選択した問題を調べる。 (3時間)
- ③ 調べたことをまとめ、プレゼンテーションで発表し合う。 (3時間)

### 4 授業の進め方

#### 学習課題

「資源・エネルギー問題を調べよう」

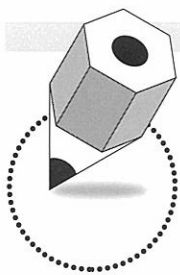
- 21世紀のエネルギーは、確保できるのだろうか。

#### 学習の流れ 新聞活用の目のつけどころ

- 太陽光発電の実情とその普及の可能性について考えさせる。 **資料▶ 1**
- 石油資源があと39年で枯渇するという事実を読み取り、石油が何に使われているかを思い起し、石油の代替エネルギーを考えさせる。 **資料▶ 2**
- 発電能力の7%が、新エネルギーである。温室効果ガス排出抑制のため、政府が2000年にこの発電能力を20倍に高める計画であることをとらえ、化石燃料と温暖化の関係を調べさせる。 **資料▶ 3**
- 21世紀の問題を総合的にとらえさせる。 **資料▶ 4**

### 5 評価

資料活用▶ 新聞記事を活用して、資源が減少してきていることや、今後ますます新エネルギー開発の必要性が高まることをとらえることができる。



#### ●生徒の授業後の感想

資源エネルギーについて調べてみて、電力量が年々増加しているのに対し、資源が減ってきていることが分かりました。新聞には、太陽光発電が普及すればするほど安くなって導入しやすくなるはずと載っていました。また、資源について調べてみると石油は39年、天然ガスが65年、ウランが43年で無

くなっていくことが分かりました。

このことから、21世紀の前半には、わたしたちの各家庭には太陽電池パネルが設置されているかもしれません。こうした省エネ、エコ発電に国全体で取り組み、環境にやさしいエネルギー開発をしていくことが、21世紀の課題だと思いました。

